

報道機関各位

記者発表資料

平成19年5月11日(金)

問い合わせ先：文化振興課

担当：阿部 順平

電話：829-1222

内線：2810

「さいたま市盆栽関連施設等基本計画（素案）」のパブリック・コメントの結果公表及び「さいたま市盆栽関連施設等基本計画」について

1 パブリック・コメント実施概要

(1) 実施期間 平成19年2月13日(火)から3月13日(火)まで

(2) 意見提出人数 23人(市内21人、市外2人)

意見提出方法	人数
郵送	15
電子メール	2
ファクス	5
持参	1
計	23

(3) 意見項目件数 90件(提出された意見を内容で細分化した件数)

項目	件数
意見を反映したもの	※ 2
素案のとおりとしたもの	63
基本計画と関連のないもの	25
計	90

※意見を反映したもの

- ・ 「基本計画」の3ページの下段にあります「イ 基本理念」の下から3行目に「国際交流」の文言を記載しました。
- ・ 計画の素案では、巻頭にありました「盆栽文化ネットワーク」の全体図を計画の29ページ「3 整備スケジュール」の後ろに参考資料として掲載を行いました。

2 意見の概要

(1) 賛成の立場からの主な意見

- ① 盆栽村においては盆栽関連施設（盆栽会館）は、ぜひとも必要のものだと思います。
- ② これといった特徴がないと言われるさいたま市の特色づくりのためにも、「盆栽関連施設」を建設することは良いことだと思います。
- ③ 世界の人々を対象にするためには世界に誇る銘品盆栽の展示が必要です。
- ④ 交流や情報発信の拠点の場となって盆栽の情報を国内外まで、そして経済の発展につながったらいいなと思います。
- ⑤ 小学校の授業として受け入れられるようなコースを設けてください。
- ⑥ 施設は和風で歴史の感じられる落ち着きのあるものにして欲しいと思います。

(2) 反対の立場からの主な意見

- ① 盆栽関連施設つまり「箱物」の建設には断固反対する。
- ② どの程度集客力があるかを見極め、その集客力に基づき需要予測を行い、再度事業計画を作成して欲しい。
- ③ 盆栽に親しむ人は一部でしょう。生涯学習の推進になるのなら各地域の公民館、集会所等での活用でよいのでは。

さいたま市盆栽関連施設等基本計画概要

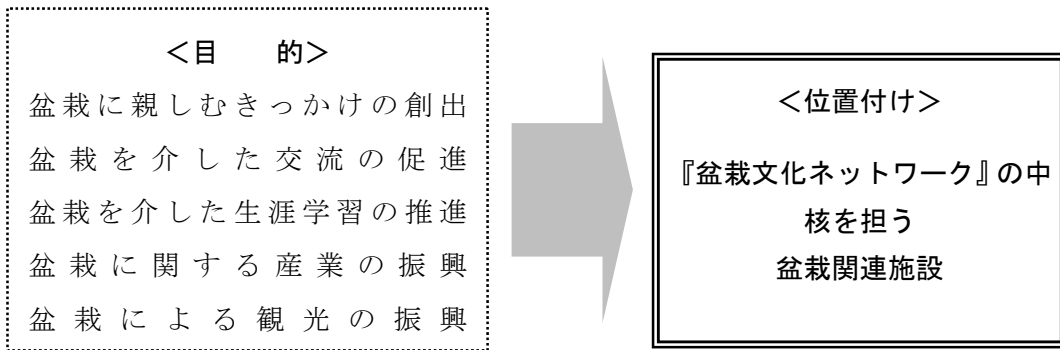
1. 目的と位置付け

盆栽をテーマに、盆栽文化の振興・活用や観光振興に向けた様々な活動を展開していくうえで、交流や情報発信の拠点となる施設が必要です。

そのために設置する盆栽関連施設においては、盆栽文化に関する様々な情報を収集し、国内外に向け発信するとともに、盆栽村を訪れる人々に対し、世界に誇る盆栽の銘品と触れ合う機会を提供し、盆栽の楽しみ方や技を紹介することにより、盆栽に対する興味や理解を深める手助けを行います。

この施設は、国内外から多くの観光客の来訪が見込める観光資源であり、盆栽に関する産業の振興が図れるとともに、地域経済に対する経済波及効果も期待できます。

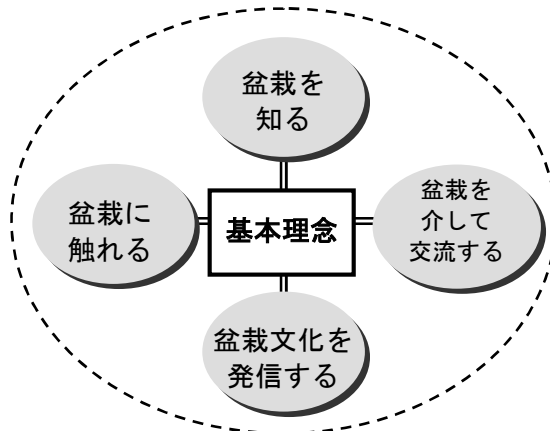
盆栽関連施設を核として、県内の観光資源と連携を図ることにより、さいたま市及び埼玉県の観光振興を推進します。



2. 基本理念

世界に誇る盆栽の銘品と触れ合う機会を提供するとともに、盆栽に興味を持たない人に対しても、盆栽をわかりやすく紹介し、気軽に触れてもらうことにより、楽しい盆栽の世界への入り口を提供します。そして、盆栽を介しての国際交流や盆栽園、盆栽愛好家などの交流を促進します。

さらに、盆栽文化の発展の中心地として、盆栽文化に関する情報を国内や世界各国に向けて発信していくことを目指します。



3. 展開する事業活動

情報発信	<p>盆栽文化の情報発信拠点として、世界に誇る盆栽の銘品の展示などによる盆栽文化の紹介、盆栽村に関する情報、盆栽に関する活動の成果などを、国内外に向けて発信します。</p> <p>また、盆栽村のインフォメーション施設として、盆栽村や周辺地域に点在する地域資源、市内及び県内の盆栽情報や観光情報を紹介します。</p> <p>《情報媒体》</p> <p>施設案内パンフレット、盆栽村案内マップ、ホームページなど</p>
教育普及	<p>盆栽に親しむ機会を提供することにより、盆栽への興味をさらに高め、盆栽の普及促進を図ります。盆栽園や盆栽組合、地域住民の方々などの協力を得て、活動を推進します。</p> <p>(1) 展示解説・・・館内ツアー、盆栽村ツアーなど</p> <p>(2) 講座・教室・・・盆栽体験教室、こども盆栽教室など</p> <p>(3) 人材育成・・・盆栽講師養成講座、盆栽ガイド講座など</p>
交 流	<p>盆栽を通して、地域内外や国内外の交流を促進するための空間を提供します。</p> <p>(1) 地域住民との交流・・・盆栽を通して交流を深める</p> <p>(2) 来訪者と地域住民との交流・・・盆栽や盆栽村を通して交流を図る</p> <p>(3) 国際交流・・・世界的に有名な盆栽を通して海外からの来訪者をもてなし、交流を図る</p>
サービス	<p>来館者に対し、休憩スペースや駐車場、トイレなどを提供します。また、盆栽関連グッズなどを販売するショップを設置し、盆栽を始めるきっかけを提供します。</p> <p>(1) 情報提供・・・盆栽村マップ、モデル散策コース、盆栽に関する初歩的な相談など</p> <p>(2) 休憩・・・トイレ、休憩スペースなど</p> <p>(3) 物販・・・盆栽に関する書籍、オリジナルグッズなど</p>

4. 施設概要

- (1) 位置 北区土呂町2丁目24番地1・2の一部
盆栽村の北側に隣接する県有地（埼玉県消費生活支援センター生活用品テスト室跡地・彩の国さいたま人づくり広域連合自治人材開発センターグラウンド跡地）に整備します
- (2) 敷地面積 **6,200 m²**
- (3) 施設規模 屋内機能 延床面積 **1,420 m²** 2階建て
屋外機能 施設面積 **5,450 m²**

5. 整備スケジュール

平成18年度	<ul style="list-style-type: none">・基本計画・地質調査
平成19年度	<ul style="list-style-type: none">・基本・実施設計・解体工事
平成20年度	<ul style="list-style-type: none">・建築工事
平成21年度	<ul style="list-style-type: none">・建築工事・開設